



朝風

平成31年度
学校報No.32
令和元年11月28日
大仙市立
大曲南中学校



柔道は、自分の人生を彩る材料

↑左側が半谷選手。右は仲元歩美コーチ



指導主事訪問

27日、南教育事務所の阿部裕子指導主事、市教委の木元真一指導主事をお迎えして、C組で伊藤誠先生の指導による授業研究会を行いました。様々な教科の授業や活動によって学び得た力を駆使しながら、主体的に新たな学びに挑戦する姿に、参観した先生方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。まさに本校が目指す「深い学び」を感じさせる授業でした。

26日、大曲西中学校を会場に、「心のバリアフリー『パラリンピック講演会』」が行われました。

講師は、柔道(視覚障がい)でロンドンパラリンピック(7位入賞)とリオデジャネイロパラリンピックに出場した半谷(はんがい)静香選手です。半谷選手は、生まれつきの弱視でしたが、お兄さんの影響で中学生から柔道を始め、大学時代に視覚障害者柔道に出会います。自らを「小心者」と語る半谷選手を変えたのは、仲元コーチと訪れたザンビアでの武者修行でした。畳が十分でない道場、柔道着もそろわないのに、何時間も歩いて稽古に通う子どもたち。そんな彼らとの交流を通して、柔道が普通に行えることは、当たり前なことではないと感じたのでした。

パラリンピックの柔道は、選手の視覚障がいの程度によって、全盲(B1)～弱視(B3)まで3クラスに区分されていますが、試合は障がいの程度でなく、体重別で競います。半谷選手は、最も障がいの度合いが大きいB1ですので、B2やB3の選手との対戦となると不利になります。

「自分は、技を身につけるのに普通の人より4倍の時間がかかる。だから、無理かもしれないと不安に思うこともある。しかし、自分の可能性を信じられるのは、自分だけ。」

「周りの人に『できる』と言われても、自分で『できない』と思っているとできない。周りの人に『できない』と言われても、自分で『できる』と思えばできる。」と、笑顔で語る半谷選手から、たくさんの勇気をいただきました。目の障がいが、今も進行中とのことでしたが、表現の練習の場として、ブログを書き続けているとのことでした。(この講演会のことも紹介していました。)

令和2年8月28日には、東京パラリンピック柔道大会の舞台上で、半谷選手の活躍が見られることと思います。

大曲南中学校様

視覚障害者柔道好例校

半谷 静香

今出来る事を全力でやる

半谷選手のサイン

2019.11.26

12月 行事予定

- 2日(月) 学校安全日
- 3日(火) 3年生後期中間テスト
- 5日(木) 県学習状況調査、3年実力テスト
- 7日(土) 大森カップバスケット大会～8日
- 9日(月) テスト前部活休止(～11日)
- 10日(火) PTA授業参観
- 11日(水) 高橋教育アドバイザー来校
- 12日(木) 1,2年生後期中間テスト
- 13日(金) 3年学習相談(理)
- 16日(月) 職員会議
- 17日(火) 3年学習相談(数)
- 18日(水) 西中・南中スポーツ交流会
- 19日(木) 専門委員会
- 20日(金) ふりかえりFriday
租税教室(3年)
3年学習相談(国)
- 22日(日) アンサンブルコンテスト
剣道昇段審査会
- 25日(水) 冬休み前集会 避難訓練
- 26日(木) 冬季休業開始 ～1月13日
3年学習相談(英・社・理)
- 27日(金) 3年学習相談(数・国・英)
- 29日(日) 学校閉庁日 ～1月3日(金)

☆☆☆生徒の活躍☆☆☆

- ☆第48回 大曲南中学校招待バスケットボール大会
優勝(本校は仙北中・協和中と合同チーム)
最優秀選手 中野 絢心
- ☆第14回 美郷町オープン卓球大会
2年女子の部 3位 粟津 瑠花